



こども芸術大学
認定こども園

RECRUIT

『こどもこそ未来』

——アート&デザインと感性が響き合う環境で、子どもも大人もともに育つ——

こども芸術大学認定こども園は、東北芸術工科大学のキャンパス内にある、
1歳から就学前までの子どもたちが通う、幼保連携型の認定こども園です。

アートやデザインに日常的にふれられる環境や豊かな自然、大学生や先生との関わりは、
子どもたちの「知りたい」「やってみたい」という気持ちを育みます。

こうした環境そのものが、子どもたちにとっての「あそび＝学び」の場となっています。

私たちは、芸術を「こころづくり」としてとらえています。

ですから、絵が描けなくても、造形が得意でなくても、大丈夫。特別な技術や経験も必要ありません。
子ども一人ひとりの心に寄り添い、その表現や成長を喜ぶ姿勢が何よりも大切だと考えます。

現在、職員の約4割は中途採用で、他園での経験を活かしながら活躍し、
新卒で入職の職員も先輩職員のサポートを受けながら、それぞれが安心して働いています。
経験の有無を問わず、一人ひとりの歩みに寄り添いながら成長を支える環境です。
子どもたちの心の動きに寄り添い、その成長とともに喜びながら働いてみませんか。

こども芸術大学の働きやすさ

育休取得率100%（令和6年度実績）

育児休業の取得率、育児休業復帰率も100%
産休・育休取得後も、希望に応じて時間短縮勤務で働くこともできます。

夏季・冬季の特別休暇あり

有給休暇は初年度から年間20日付与に加え、夏季・冬季に特別休暇が付与されます。
希望に応じて連休になるよう設定できます。

持ち帰りの仕事はありません

ワークライフバランスを大切にしているため、仕事の持ち帰りはありません。
時間内に勤務終了になるよう、業務量・内容を調整しながら進めています。

残業には手当を全額支給します

業務効率化を進めておりますが、行事前などは残業が発生する場合があります。
その際は、残業の申請により時間外手当を全額支給しています。

土曜出勤は希望により調整可能

行事日を除き、土曜出勤は事前の希望アンケートにより決定しています。
1日約5時間程度の勤務で、予定に合わせて希望でき、スケジュール調整がしやすいです。
土曜出勤分は、時間外手当としての支給となります。（振替休日の取得も可能です）

職員平均年齢は34歳

20代から60代まで幅広い年代の職員が在籍しています。
特に20代・30代の職員が多く、互いに相談しやすい雰囲気があります。

さまざまな研修が受けられます

キャリアアップ研修はじめ、園内外の研修に参加することができます。
日々の保育とあわせて学びを深め、成長を感じながら働ける環境です。



給与・手当

雇用	保育教諭（正職員）
資格	保育士資格及び幼稚園教諭免許
給与	短期大学新卒初任給 216,000円～ 四年制大学新卒初任給 222,000円～ ※中途採用の場合は、上記に経験年数を加味します
諸手当	職務手当、賃金改善手当、時間外勤務手当、住宅手当、通勤手当、扶養手当、役職手当など
賞与	年2回 計4.0か月
勤務時間	週40時間勤務
休日	週休2日 有給休暇20日、夏季・冬季特別休暇、年末年始休暇、看護休暇、介護休暇など

採用のプロセス

園見学・説明会

○応募前に園見学をお勧めしています！
（オンライン対応可能）

書類応募

○書類応募締切 9月30日（水）＊当日必着
○提出書類 受験申込書、職務経歴書

一次試験

○一次試験 10月上旬（予定）
保育体験（ピアノ1曲、手遊び）
面接

最終試験

○最終試験 10月下旬（予定）
面接

内定

○内定 10月末頃（予定）

見学会のお知らせ

子どもたちの姿や働く職員の雰囲気を感じながら、働く姿をイメージしてみませんか？
当日は見学のほか、福利厚生などの説明や個別の質疑応答の時間もあります。

7月16日（木）	①10時	②16時	（各回1時間～1時間半程度）
7月28日（火）	①10時	②16時	（各回1時間～1時間半程度）
8月 4日（火）	①10時	②16時	（各回1時間～1時間半程度）
8月21日（金）	①10時	②16時	（各回1時間～1時間半程度）
8月29日（土）	13時30分	（1時間～1時間半程度）	
9月15日（火）	①10時	②16時	（各回1時間～1時間半程度）

参加のお申し込みは、見学申し込みフォームから可能です。また、電話やメール、公式LINE、InstagramのDMからお申込や質問、ご相談を受け付けています。
上記日程でご都合がつかない場合は、ご相談ください。

＼見学会申込はこちら！／



お問い合わせ

Mail : kodomo@aga.tuad.ac.jp

Tel : 023-627-2280

担当：若松

